

永田クラブ
厚生労働省記者クラブ
農林水産省記者クラブへ貼り出し

プレスリリース

平成20年9月24日
内閣府食品安全委員会事務局

「食品に関するリスクコミュニケーション
ーヨーロッパにおける微生物のリスク評価（仮題）ー」
の開催と参加者の募集について（お知らせ）

食品安全委員会は、オランダ国立健康環境研究所人獣共通感染症・環境微生物研究室副室長アリー・ハベラー博士をお招きし、WHOやヨーロッパにおける食中毒菌を中心とした微生物のリスク評価の現状や最新の動向などについて、情報の提供を主体とした意見交換会を行います。

現在、食品安全委員会微生物・ウイルス専門調査会では、カンピロバクター・ジェジュニ／コリのリスク評価を進めております。カンピロバクター・ジェジュニ／コリは、食中毒を起こす病原菌として、日本でも関心が高まりつつあることから、カンピロバクターのリスク評価等についても、お話いただきます。

なお、このたびの講演にはどなたでも参加できますが、微生物学の専門的な内容が含まれておりますので、微生物等に関する基礎的な知識をお持ちの方を主な対象と考えております。

1. 開催日時及び場所：

日付	時間	開催地	会場名
平成20年10月17日（金）	14:00-16:00	東京	東京国際フォーラム ホールD1

2. 会場（別紙地図参照）：

東京国際フォーラム ホールD1 （東京都千代田区丸の内3-5-1）

3. 主催：食品安全委員会

4. 参加者：約100名（どなたでも参加可能ですが、食中毒を起こす病原菌について基礎的な知識を有する方を対象としております。）

5. プログラム（予定）

（1）講演

「ヨーロッパにおける微生物のリスク評価（仮題）」

アリー・ハベラー

（オランダ国立健康環境研究所 人獣共通感染症・環境微生物研究室副室長）

（2）会場参加者との意見交換

登壇者：アリー・ハベラー（オランダ国立健康環境研究所人獣共通感染症・
環境微生物研究室副室長）

春日 文子（食品安全委員会微生物・ウイルス専門調査会専門委員）

6. 参加者の募集

定員に達したため、募集は締め切っております。ご了承ください。

お申し込みいただいた方には、参加証の郵送又はFAXにより御連絡いたします。参加証の郵送が間に合わない場合、FAXでのお知らせとなります。

参加証又はFAXのお知らせを受け取られた方は、意見交換会当日、会場受付で、当該参加証又はFAXのお知らせを御提示ください。なお、参加証及びFAXのお知らせをお忘れになった場合等は、身分を証明するもの（運転免許証、健康保険証、社員証など）を御提示いただきますので御注意ください。

なお、氏名・住所等は、当方から必要に応じて御連絡させていただく場合や会場での参加確認のため、また、どのような立場の方々が御参加されているのかを把握するためにお尋ねしております。

本会はマスコミにすべて公開いたします。発言者、参加者の写真及び映像が配信・報道される可能性があることをあらかじめ御了承ください。

(問い合わせ先) 「食品に関するリスクコミュニケーション」事務局

TEL 03-5294-2700

(受付時間 9:30~17:00 土日・祝日を除く)

業務管理委託先：株式会社日経スタッフ 責任者：東條

食品安全委員会では、事務効率改善の観点から、一般競争入札により決定された民間企業に、会場の確保、参加者受付などの一部業務を委託して実施しております。

個人情報管理については、業務委託を受ける民間企業に対し、食品安全委員会として適切な指導・監督を行っています。

【報道関係者の皆様へ】

- ・意見交換会は公開いたします（カメラ撮り可）。
- ・定員に達したため、参加希望の受付は締め切っております。ご了承ください。

(別紙地図)

東京国際フォーラム（ホールD1）

東京都千代田区丸の内3-5-1



◆交通アクセス

・JR線

有楽町駅より徒歩1分

東京駅より徒歩5分（京葉線東京駅とB1F地下コンコースにて連絡）

・東京メトロ

有楽町線：有楽町駅とB1F地下コンコースにて連絡

日比谷線：銀座駅より徒歩5分/日比谷駅より徒歩5分

千代田線：二重橋前駅より徒歩5分/日比谷駅より徒歩7分

丸の内線：銀座駅より徒歩5分

銀座線：銀座駅より徒歩7分/京橋駅より徒歩7分

三田線：日比谷駅より徒歩5分

《講演者等プロフィール》

○ アリー・ハベラー (Arie H.Havelaar)

オランダ国立健康環境研究所 人獣共通感染症・環境微生物研究室副室長。世界保健機関(WHO)食品由来疾病調査グループ座長。ユトレヒト大学リスク評価科学研究所 微生物リスク評価学教授。

デルフト工科大学(オランダ)およびエラスムス大学(オランダ)で修士号を、またユトレヒト大学で博士号を取得。

専門分野は、食品および環境における病原菌の公衆衛生。100以上の学術論文の他、著書、調査報告書など多数。

○ 春日 文子 (かすが・ふみこ)

食品安全委員会微生物・ウイルス専門調査会専門委員および緊急時対応専門調査会専門委員。

国立医薬品食品衛生研究所食品衛生管理部第三室長、農学博士、獣医師。

昭和57年東京大学農学部畜産獣医学科卒業、63年東京大学大学院博士課程修了。国立予防衛生研究所(現、国立感染症研究所)入所、平成14年国立医薬品食品衛生研究所へ異動、同年7月に現職。厚生労働省薬事・食品衛生審議会専門委員、日本学術会議会員、国際食品微生物規格委員会(ICMSF)委員。文部科学省学校給食衛生管理研究協力者会議、FAO/WHO専門家会合にも参加してきた。食品衛生学、特に微生物学的リスク評価手法の研究を行うほか、保育所保健衛生や学校給食衛生の指針作りにも関わる。東京大学や明治大学において非常勤講師を務める。